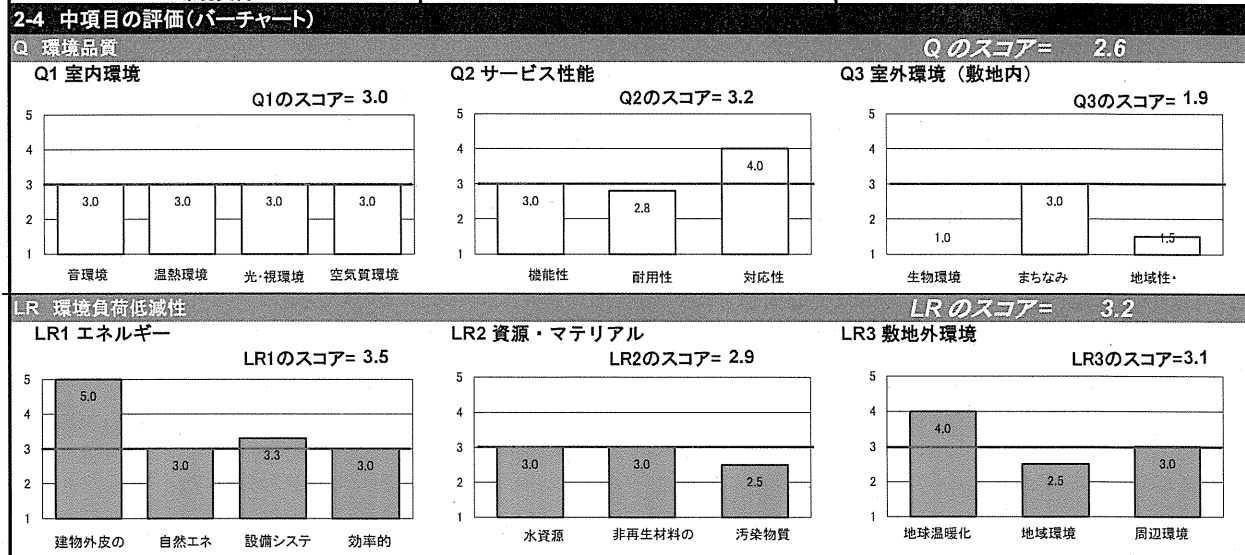
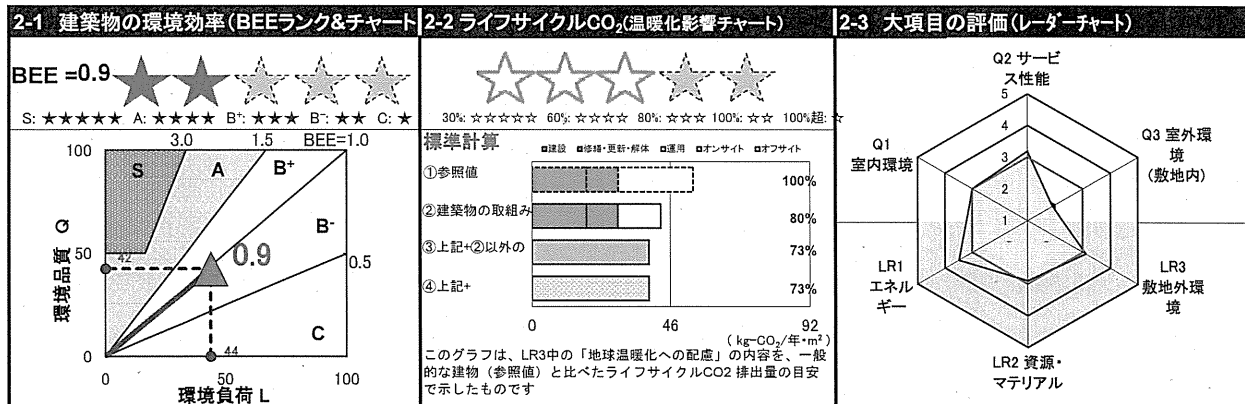


CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.4)

1-1 建物概要			1-2 外観
建物名称	(仮称)タテロ様倉庫【倉庫兼事務所】	階数	地上2階
建設地	京都府八幡市八幡一ノ坪80番2、11	構造	S造
用途地域	準工業地域 22条区域内	平均居住人員	XX 人
地域区分	6地域	年間使用時間	XXX 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025.10.1 予定	評価の実施日	2024.11.28
敷地面積	9,193 m ²	作成者	(株)三煌産業 一級建築士事務所
建築面積	1,784 m ²	確認日	
延床面積	2,277 m ²	確認者	〇〇〇

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
標準的な配慮を行った。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
化学物質発生に対する配慮を行った。	標準的な配慮を行った。	標準的な配慮を行った。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
太陽光発電システムを設け自然エネルギーの活用に配慮した。	内装建材にF☆☆☆☆を使用した。	緑地を計画し、近隣環境に対して配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される